

# 野馬土の新聞

(Web版)

2021年1月号

特定非営利活動法人  
野馬土

相馬市石上字南白髭320  
TEL.26-8437  
FAX.26-8203



## 新年あいさつ

新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くの方に「ご協力をいただき、様々な活動を行う事ができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。」

二〇二一年も農業復興に向けた活動をはじめ、福島の状態を伝える活動や風評被害に向き合う活動を行ってまいります。さらには野馬土の活動を全国・世界へと情報発信する機会を昨年以上に増やし、多くの方に福島の復興状況をお伝えしていきますので、引き続き皆様にはご支援承りますよう、宜しくお願い致します。

## 元気に仕事初め!

一月五日、職員一同勢ぞろいしての仕事初めとなりました。丑年は「目の前の事を着実にこなし将来に結び付ける年」と言われています。コロナとの我慢比べは続きますが、感染防止に常に留意しながら仕事にまい進していきます。今年も宜しくお願い致します。

明けましておめでとうございます。



## 『つまみ細工教室』

開催 ☆

十二月十日(木)、カフェ野馬土で「つまみ細工教室」を開催しました。つまみ細工「ほんなり」の近藤好恵さんにご指導いただき、大人かわいいお花のブローチを作りました。生麩の粉を鍋で炊いてつくった「生麩糊」の接着剤で、二十五ミリ角の布十六枚をピンで折りながら花びらを作ります。細かい作業に四苦八苦しながら一枚ずつ丁寧に貼り付けしていきます、色とりどりの見事なお花が出来上がりました。今回も参加者さんに満足していただき、大盛況でした。



## 家族農林漁業プラットフォーム幹事会開催



二〇二〇年十一月に任意団体「家族農林漁業プラットフォーム」を設立しました。今後の活動の具体化を協議する為、総会で選出された役員による最初の幹事会を十二月二十四日に開催しました。結成総会については、地元新聞や新聞農民でも取り上げて頂き、関係各所への設立以降のご挨拶やご報告を進めております。

初年度の事業計画や、新設したSNSページの情報発信について協議が行われ、地域内で既に行動を起こされている会員様の取り組みの紹介を率先して行っていき、伝える事・学ぶことの実践につなげられる仕組みを作っていく事など、プラットフォームが担うべき具体的な役割を確認しました。

まずは「知ってもらうこと」が重要課題。二〇二一年は広報活動と連携作りに尽力してまいります。



## 被災地フクシマの旅

### 実行委員会



十二月十七日、定例の被災地フクシマの旅実行委員会が開催されました。G.O.T.O. キャンペーンが一時停止となり予約のキャンセルが出るかと身構えていましたが、こちらの予想に反しほぼキャンセルが出ず、逆に新規の申し込みがちらほらありました。実行委員会が開催される十五時前には、東京都の感染者が過去最高を更新したとの報道が出ました。それでも受け入れて頂けるガイドさん達には感謝です。引き続き感染対策をとりながら進めていきたいと思っております。

